

ずっと、
あなたと、コンビニに、
ファミリーマート

第26期 中間報告書

2006年3月1日～2006年8月31日

ずっと、あなたと、コンビニに、



おかげさまで25周年

FamilyMart

ファミリーマートのスローガン

あなたと、コンビニに、

FamilyMart

～お客さまの気持ちに一番近い、なくてはならない「コンビニ」なることを宣言します～

ファミリーマートの目指すもの

私たちファミリーマートは、
ホスピタリティあふれる行動を通じて、
お客さまに「気軽にこころの豊かさ」を提案し、
快適で楽しさあふれる生活に貢献します。

ファミリーマートの基本姿勢

- 私たちは、常に新しい価値の創造を目指し、
お客さまのこころに響く、クオリティの高い商品・サービスを提供しつづけます。
- 私たちは、加盟店・取引先・社員とともに成長・発展する
「共同成長の精神（CO-GROWING）」に立脚した事業活動を通じて
企業価値を高め、すべてのステークホルダーに対する責任を果たします。
- 私たちは、国内外を問わず倫理・法令を遵守し、
オープンでフェアな企業活動によって、社会から信頼される企業を目指します。
- 私たちは、常に地球環境への配慮を怠らず、
安心・安全な生活と夢のある社会の実現に向けて、地域・社会に貢献していきます。
- 私たちは、社員一人ひとりの豊かな創造性とチャレンジ精神を何よりも大切にし、
自らが「感じ」「気づき」「行動する」闊達な企業風土を育みます。

ファミリーマートの行動指針

ファミマシップ

感じる、気づく、動く～こころにホスピタリティを～

- お客さまの期待を超えよう
- 仲間を信じ、ともに成長しよう
- 豊かな感性を磨こう ●挑戦を楽しもう
- 世の中に向かって正直でいよう

ファミリーマート 基本理念

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、当社第26期中間報告書(2006年3月1日から2006年8月31日まで)をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

5年連続増収増益を達成！

当中間期は、春先からの低温や、例年より大幅に遅れた梅雨明け等の天候不順、業態内外でのさらに激化する競争等により、コンビニエンスストア業界にとりましては厳しい経営環境が続きました。このような環境のもと、ファミリーマートは小売業の基本を徹底するとともに、1店1店の置かれている環境に合わせて売場を日々進化・活性化させ、収益性を高めていくことが最も重要であるという認識のもと、「既存店のチェーンインフラの内部改革」に徹底して取り組んでまいりました。

また、今年度より始めました「売場・商品改革」「収益構造改革」「コスト構造改革」「意識改革」の4つからなる「第2次構造改革」が軌道に乗りはじめ、当中間期は、連結・単体ともに中間期として5年連続で増収増益を達成し、全ての段階で過去最高を更新いたしました。

全国47都道府県へ出店達成！～過去最高の310店出店～

2006年5月の青森県、7月のエリアフランチャイズによる北海道への出店をもって全都道府県への出店を達成いたしました。また開発要員を増強したこと、新FC契約形態「2FC-N」も好評なことから、単体では上期過去最高となる310店の出店を達成し、128店の純増となりました。

また、引き続き好調な海外展開により、ファミリーマートグループは日本・台湾・韓国・タイ・中国・アメリカの6つの地域に合計12,881店舗(2006年8月末現在)を展開し、今後もパン・パシフィック地域において「グローバル2万店」を目指し高質店の出店を加速してまいります。

売場・商品政策

今年度、ファミリーマートでは米飯やパンに続く新たな柱として、新ブランド「三ツ星パスタ」、「Sweets+ (スイーツプラス)」を立ち上げお客様からご好評をいただいております。また、「過熱蒸気調理」製法等独自の技術を積極的に投入し本格的な商品の開発を行ってまいりました。今秋はファスト・フードにさらに注力し、「できたてファミマキッチン」としてブランド化し、コーナーとして一体で訴求するとともに、新商品を続々と発売してまいります。

さらに、当中間期は「売場・商品改革」の一環として、各加盟店

からのアイデアも取り入れながら個店・地域毎の品揃えを推進する「ファミマワンダー500プロジェクト」を始動いたしました。下期からはさらに展開を拡大していくとともに、東京都・神奈川県内の400店では、「ファミマフレッシュ」として既存店における生鮮品の取り扱いも本格稼働してまいります。

おかげさまで創立25周年！～新基本理念を制定～

ファミリーマートは、9月1日をもっておかげさまで創立25周年を迎えました。常日頃からの皆さまのご支援に対し、心より御礼申し上げます。

また、これを機に15年ぶりに企業理念を見直し、新たに「ファミリーマート基本理念」を制定いたしました。「ファミリーマート基本理念」は、「あなたと、コンビに、ファミリーマート」のスローガンに始まり、「気軽にこころの豊かさの提案」というお客さまへ提供価値を表現した「ファミリーマートの目指すもの」、そしてその実現に向けた「ファミリーマートの基本姿勢」、さらにファミリーマートに携わる全員の行動指針となる「ファミマシップ」から構成されております。この新たな基本理念のもと、企業価値の更なる向上に努めてまいります。

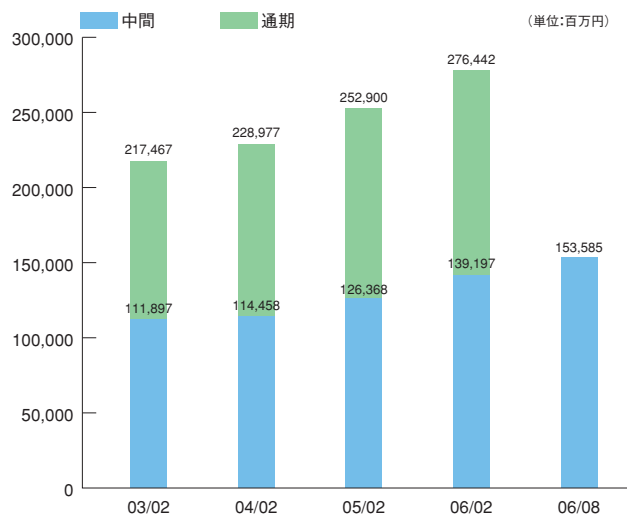
株主の皆さまにおかれましては、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。



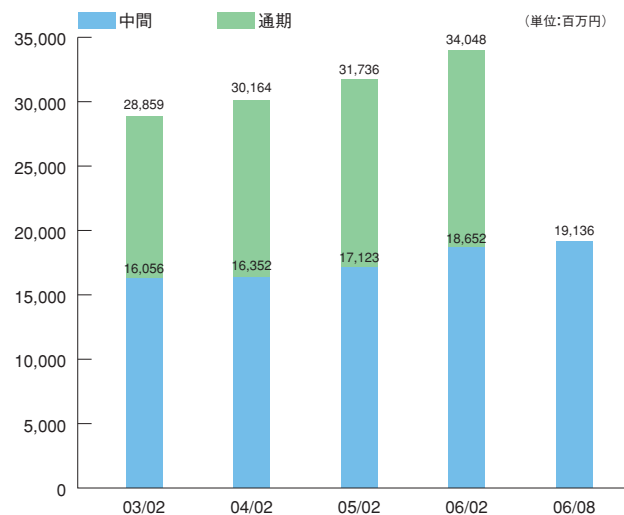
2006年11月

代表取締役社長 上田 準二

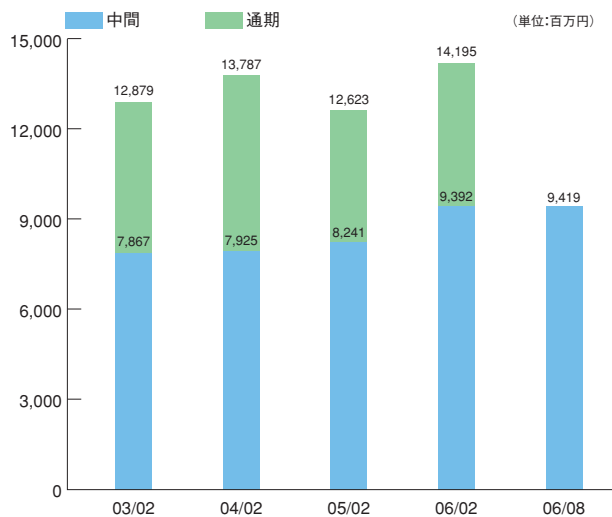
■営業総収入



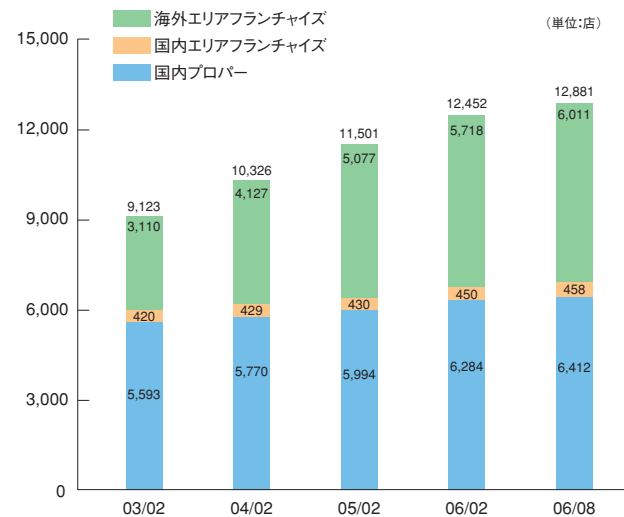
■経常利益



■中間(当期)純利益



■国内外店舗数



「おかげさまで創立25周年」

Topics

2006年9月1日をもって、ファミリーマートは創立25周年を迎えることができました。

創立時にわずか1都3県で展開していた店舗網も着実に拡大し、2006年7月の北海道への出店をもって、日本全国47都道府県に出店を達成することができました。ファミリーマートでは、こうした成長を支えてくださった全国のお客さまに感謝すべく、各種のキャンペーンを展開しております。

店舗の歴史



1973年3月



1978年8月



1981年9月



1992年3月

ファミリーマートの歴史は、1973年に実験1号店を埼玉県狭山市に開店したことから始まります。その実験1号店を1978年にフランチャイズ店に変更し、本格的な事業を開始いたしました。同年には一般募集によるフランチャイズ1号店を千葉県船橋市に24時間営業店舗として開店。1985年には愛知、岐阜、三重の3県におけるフランチャイズ展開を、1987年には沖縄県におけるフランチャイズ展開をそれぞれ開始し、エリアをいっそう拡大するとともに1988年には台湾へ初の海外進出を果たしました。その後、九州や北陸、東北など日本国内での展開エリアを広げるとともに、韓国、タイ、中国、アメリカへも進出し、2006年8月末日現在ではチェーンータル店舗数12,881店舗となるまでの成長を果たしております。

25周年キャンペーン



これまで25年間にわたり、成長を支えてきてくださったお客さまに感謝の気持ちを込めて、ファミリーマートでは多彩なキャンペーンを企画いたしました。その第一弾として、人気アニメーションとのタイアップ企画を実施いたしました。また、毎日25万人にクーポン券が、

さらに、簡単なクイズにお答えいただくと、正解者の中から抽選でファミリーマートが出店しているアジアの国々への海外旅行等が当たる「クーポン券キャンペーン」や、レシートに表示された数字が当選番号となる「ファミロトキャンペーン」を開催いたしました。なお、この秋、国内外のファミリーマートグループの共同企画として、「夢は世界へキャンペーン」を日本、台湾、韓国、タイ、中国のファミリーマート店舗（合計約13,000店舗）において、世界同時開催いたします。今後もファミリーマートは、「ずっと、あなたと、コンビニに、ファミリーマート」というキャッチフレーズのもと、お客さまにファミリーマートの店舗に足を運べば“楽しいことがある”、“面白いことがある”と感じていただけるような企画を実施してまいります。



ファミリーマートは2006年7月7日の「ファミリーマート札幌本町1条店」の出店をもって、全国47都道府県への出店を達成いたしました。そして、2006年8月末日現在、日本国内合計で6,870店舗（エリアフランチャイズ含む）、世界各国（日本・台湾・韓国・タイ・中国・アメリカ）におけるチェーン・ータル店舗数は、12,881店舗に達しております。また、日本国内においては、国立大学初の産学

連携を目指した「ファミリーマート名古屋大学店」などユニークな店舗を出店する一方、中国国内においては、上海市に引き続き広州市への出店も計画しております。

今後も、グローバル2万店体制に向けてアジア、アメリカを結ぶ環太平洋地域への出店を加速してまいります。



青森県



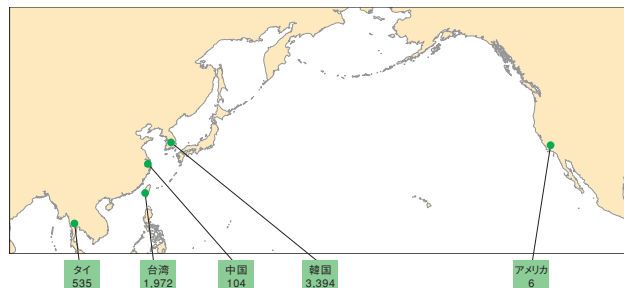
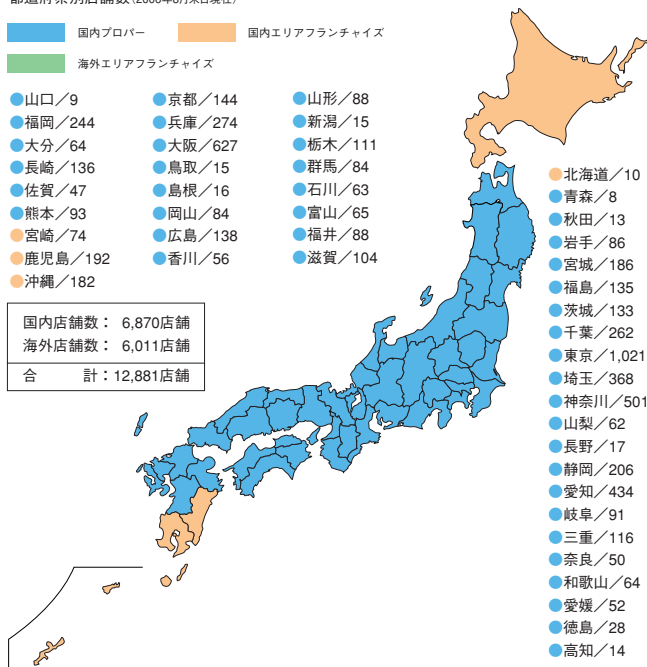
北海道

都道府県別店舗数（2006年8月末日現在）

国内プロパー 国内エリアフランチャイズ
海外エリアフランチャイズ

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| ● 山口／9 | ● 京都／144 | ● 山形／88 |
| ● 福岡／244 | ● 兵庫／274 | ● 新潟／15 |
| ● 大分／64 | ● 大阪／627 | ● 栃木／111 |
| ● 長崎／136 | ● 鳥取／15 | ● 群馬／84 |
| ● 佐賀／47 | ● 島根／16 | ● 石川／63 |
| ● 熊本／93 | ● 岡山／84 | ● 富山／65 |
| ● 宮崎／74 | ● 広島／138 | ● 福井／88 |
| ● 鹿児島／192 | ● 香川／56 | ● 滋賀／104 |
| ● 沖縄／182 | | |

国内店舗数：6,870店舗
海外店舗数：6,011店舗
合 計：12,881店舗



アメリカ



韓国



中国



台湾



タイ

ワンランク上の、大人の嗜好品Sweets⁺販売開始

ファミリーマートでは、これまでのコンビニエンスストアのデザート以上に「味」「見た目」「食感」「香り」等にこだわった、新ブランド「Sweets⁺（スイーツプラス）」を立ち上げ、全国店舗での展開を開始いたしました。また、このSweets⁺にはオリジナルのバッグを用意し、お洒落なバッグでお持ち帰りいただくことによる“こころの豊かさ”もご提供しております。



スイーツプラス

Sweets⁺



おなか満足、カロリーひかえめな「つゆだくおでん」

ファミリーマート自慢の「つゆだくおでん」は、つゆにこだわったおでんです。今年度は、“おでんつゆ”をこれまでの4地区（東日本、西日本、九州、沖縄）から、中部地区を独立させて5地区へと細分化し、より地域で好まれる味に仕立てました。また、地元食材を使用した具材を追加するなど、商品内容もより魅力あるものへと変更を加えております。加えて、つみれやはんぺん等、魚のすり身が主原料の商品には、今年度より食物繊維を配合し、おでん全体でヘルシー感を訴求してまいります。



朝の人気情報番組『みのもんたの朝ズバッ!』とファミリーマートがコラボレーション



『みのもんたの朝ズバッ!（TBSテレビ制作）』は、人気タレントの“みのもんた”

さんを司会者とする朝の情報番組です。ファミリーマートは番組名にある「朝」をイメージしたパンやチルド飲料を、“みのもんた”さんとともに開発、2006年夏の限定商品として販売し、多くのお客さまからご好評をいただきました。



みのもんたの朝ズバッ! パン
トマトジュースのウィンナーエッグ



みのもんたの朝ズバッ! パン
野菜＆果物ジュースの
ベーコンチーズ

顧客接点としての位置づけを強化した新Famiポート

ファミリーマートで、チケットの購入や旅行予約、プリペイドサービスなど多種多様なサービスをタッチパネル上の簡単な操作で利用できる店頭端末、それが「Famiポート」です。ファミリーマート



トが現在全店規模で展開している次世代店舗システムの構築に当たり、このFamiポートもモデルチェンジし、順次導入を進めております。新Famiポートでは、タッチパネルの認識精度を高めてお客さまの使い勝手を向上させているほか、動画などの大容量コンテンツを使ったサービスを提供することが容易になりました。

さらにサービスを拡大したファミマカード

「ファミマカード」は、全国のファミリーマートで会員だけの特典が受けられるお得なカードです。これまでの累計会員数は約125万人（2006年8月末現在）と、多くのお客さまからご支持をいただいております。ファミリーマートはこのカードを活用して各種のタイアップ企画を実施しており、2006年は大手外食チェーンとタイアップし、ファミリーマート店舗以外でのカード会員への特典を強化してまいりました。こうした取り組みにより、お客さま満足度をさらに向上させ、来店頻度の向上、ファミリーマートファンの拡大を図ってまいります。



ファミマカードの基本的機能

ファミマカードは入会金・年会費は無料で、会員特別価格でのお買い物や会員限定割引デーがあります。ファミリーマートでのお買い物でポイントがたまり、たまったポイントはファミリーマートでのみ使えるポイントサービスはもちろんのこと、公共料金のクレジット払いも可能です。

「ホスピタリティあふれる接客」を支援する新POSレジスター

ファミリーマートでは、地域特性やお客さまの個々のニーズに対応した店舗づくりを目指し、全店の店舗情報システムを統合刷新した、「光ファイバー・ネットワーク」を構築いたします。

その中でも新POSレジスターは、高速レシート印字と高解像度印刷でより早い・きれいなレジ対応でホスピタリティあふれる接客を実現してまいります。

また、お客さま向け画面を大型15インチとするなど、多機能を搭載しながらも現行POSレジ以下の省スペース、省電力を実現し、機器のリサイクル化率も高めた環境にも優しい設計となっております。



「社会・環境報告書2006」発行

2006年6月には「社会・環境報告書2006」を発行いたしました。この号では創立25周年を記念し、特集「お店から見た、ファミリーマートの歩み」で、コンビニエンスストア事業を展開する本部と、二十数年にわたりファミリーマート店舗を運営されてきた加盟店の事業活動についてご紹介いたしました。このページでは、加盟店経営者の話を通して、ホスピタリティについて考える構成となっております。こうした冊子の発行を通して、各店舗の社会的な責任や環境への取り組みについての認識を新たにし、地域社会の中でより一層親しまれる店舗を目指してまいります。



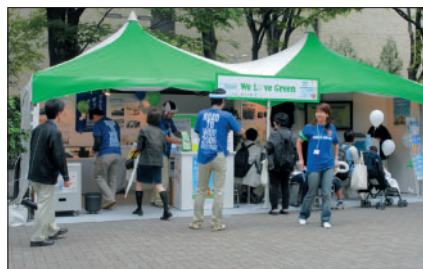
「ファミリーマート夢の掛け橋募金」

ファミリーマートでは2006年4より「ファミリーマート夢の掛け橋募金」をスタートしております。ここで集められた募金は、社会にとって意義のある活動を行う公共性、安全性の高い民間団体(NPO・NGO)への幅広い支援に用いられます。同年7月、第一回目の集計では合計で30,685,398円にもものぼる募金をいただきました。この募金は「世界の子どもたちと地球の未来のために」国内外で活動する民間団体を支援するため、4団体(特定非営利活動法人 国連WFP協会、社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、社団法人 国土緑化推進機構「緑の募金」、独立行政法人 環境再生保全機構「地球環境基金」)へ均等に寄付いたしました。



© WFP

「エコライフ・フェア2006」に出展



2006年6月に東京・代々木公園で開催された「エコライフ・フェア2006」に出展いたしました。このイベントは環境月間である毎年6月に環

境省の呼びかけで開催されているもので、環境NGOや関連団体、一般企業などが出展し、環境保全の重要性をアピールするものです。ファミリーマートはこのイベントの趣旨に賛同し「ずっと、あなた

と、コンビに、ファミリーマート ～We Love Green～」をテーマに、コンビニエンスストアとしては初めて出展いたしました。出展ブースには、ファミリーマートの環境キャラクター「エコロン」をはじめ、パネルなどの展示物により環境に対するさまざまな取り組みをご紹介いたしました。開催期間中は、お子さまからお年寄りまで多くの方が展示ブースに来場され、ご好評をいただきました。来場者の中には小池環境大臣(当時)もおいでになり、担当者の説明に耳を傾けていらっしゃいました。



中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科 目	当中間期 (2006年8月31日現在)	前中間期 (2005年8月31日現在)	前 期 (2006年2月28日現在)	科 目	当中間期 (2006年8月31日現在)	前中間期 (2005年8月31日現在)	前 期 (2006年2月28日現在)
【 資 産 の 部 】				【 負 債 の 部 】			
流動資産	145,689	157,366	147,578	流動負債	142,655	126,532	121,557
現金及び預金	82,774	99,989	86,194	支払手形及び買掛金	73,003	67,656	60,366
加盟店貸金	7,512	7,416	8,359	加盟店預り金	4,322	3,851	2,834
有価証券	10,504	6,622	9,853	短期借入金	541	480	518
たな卸資産	7,549	8,125	6,905	未払金	16,552	12,816	15,408
前払費用	6,065	5,386	5,175	未払法人税等	8,013	7,135	5,869
繰延税金資産	3,720	1,879	3,547	預り金	34,721	27,207	31,260
未収入金	16,328	16,989	16,433	その他	5,501	7,384	5,298
その他	12,374	12,139	12,202	固定負債	17,151	16,171	16,806
貸倒引当金	△1,140	△1,182	△1,094	退職給付引当金	4,979	4,699	4,846
固定資産	181,485	156,426	166,542	役員退職慰労引当金	444	462	523
有形固定資産	55,494	54,807	54,110	預り敷金保証金	10,401	10,313	10,448
建物及び構築物	27,260	26,107	26,270	その他	1,325	696	988
器具及び備品	13,256	13,623	12,918	負債合計	159,806	142,703	138,363
土地	12,882	13,266	13,003	【 少 数 株 主 持 分 】			
その他	2,095	1,809	1,918	少数株主持分	—	6,041	7,525
無形固定資産	8,857	7,538	6,892	【 資 本 の 部 】			
ソフトウェア	7,645	5,867	5,587	資本金	—	16,658	16,658
連結調整勘定	167	195	166	資本剰余金	—	17,056	17,057
その他	1,044	1,475	1,138	利益剰余金	—	132,855	135,575
投資その他の資産	117,133	94,079	105,538	その他有価証券評価差額金	—	555	878
投資有価証券	16,749	7,797	11,627	為替換算調整勘定	—	△319	△168
繰延税金資産	3,307	2,881	2,749	自己株式	—	△1,759	△1,769
敷金保証金	83,479	77,503	80,644	資本合計	—	165,047	168,232
その他	14,194	6,631	11,180	負債、少数株主持分及び資本合計	—	313,793	314,120
貸倒引当金	△597	△734	△663	【 純 資 産 の 部 】			
資産合計	327,174	313,793	314,120	株主資本	160,347	—	—
				資本金	16,658	—	—
				資本剰余金	17,869	—	—
				利益剰余金	142,849	—	—
				自己株式	△17,029	—	—
				評価・換算差額等	75	—	—
				その他有価証券評価差額金	433	—	—
				為替換算調整勘定	△357	—	—
				少数株主持分	6,945	—	—
				純資産合計	167,368	—	—
				負債・純資産合計	327,174	—	—

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (自 2006年3月 1日 至 2006年8月31日)	前中間期 (自 2005年3月 1日 至 2005年8月31日)	前期 (自 2005年3月 1日 至 2006年2月28日)
営業収入	83,564	80,190	157,891
売上高	70,021	59,007	118,551
営業総収入	153,585	139,197	276,442
売上原価	57,002	48,349	96,633
営業総利益	96,583	90,848	179,809
販売費及び一般管理費	78,545	72,818	147,147
営業利益	18,037	18,030	32,661
営業外収益	1,175	760	1,538
営業外費用	76	138	151
経常利益	19,136	18,652	34,048
特別利益	169	19	110
特別損失	2,460	2,267	9,787
税金等調整前中間(当期)純利益	16,845	16,404	24,370
法人税、住民税及び事業税	7,490	6,800	11,023
法人税等調整額	△430	△131	△1,876
少数株主利益	365	342	1,028
中間(当期)純利益	9,419	9,392	14,195

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (自 2006年3月 1日 至 2006年8月31日)	前中間期 (自 2005年3月 1日 至 2005年8月31日)	前期 (自 2005年3月 1日 至 2006年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,981	34,381	42,777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,095	△11,648	△32,249
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,303	△2,472	△4,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	176	364
現金及び現金同等物の増減額	△3,419	20,435	6,655
現金及び現金同等物の期首残高	86,189	79,533	79,533
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	82,769	99,969	86,189

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

当中間期(自2006年3月1日 至2006年8月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2006年2月28日残高	16,658	17,057	135,575	△1,769	167,522	878	△168	709	7,525	175,757
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△2,082		△2,082					△2,082
利益処分による役員賞与金			△63		△63					△63
中間純利益			9,419		9,419					9,419
自己株式の取得				△16,440	△16,440					△16,440
自己株式の処分		811		1,180	1,992					1,992
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△445	△189	△634	△579	△1,214
中間連結会計期間中の変動額合計	—	811	7,273	△15,259	△7,174	△445	△189	△634	△579	△8,388
2006年8月31日残高	16,658	17,869	142,849	△17,029	160,347	433	△357	75	6,945	167,368

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表

(単位: 百万円)

科 目	当中間期 (2006年8月31日現在)	前中間期 (2005年8月31日現在)	前 期 (2006年2月28日現在)	科 目	当中間期 (2006年8月31日現在)	前中間期 (2005年8月31日現在)	前 期 (2006年2月28日現在)
【 資 産 の 部 】				【 負 債 の 部 】			
流動資産	122,210	141,270	123,348	流動負債	120,476	109,719	99,522
現金及び預金	77,553	95,687	78,604	買掛金	3,301	2,859	2,284
加盟店貸金	7,512	7,416	8,359	加盟店買掛金	55,380	54,085	44,125
有価証券	—	1,000	1,000	加盟店預り金	4,309	3,841	2,830
たな卸資産	2,525	3,631	1,799	未払法人税等	7,677	6,832	5,434
繰延税金資産	3,705	2,463	3,533	預り金	32,341	27,444	28,003
短期貸付金	194	2,334	524	その他	17,466	14,655	16,844
未収入金	15,796	16,308	15,793	固定負債	13,253	13,031	13,297
その他	16,057	13,541	14,825	退職給付引当金	4,903	4,623	4,772
貸倒引当金	△1,134	△1,115	△1,091	役員退職慰労引当金	439	453	510
固定資産	173,546	151,409	158,854	預り保証金	1	1	1
有形固定資産	41,499	41,319	40,370	預り敷金	7,137	7,376	7,300
自社所有有形固定資産	16,009	15,236	15,461	その他	771	577	712
建物	4,326	4,528	4,343	負債合計	133,729	122,750	112,819
器具及び備品	2,162	1,445	1,779	【 資 本 の 部 】			
その他	9,519	9,262	9,338	資本金	—	16,658	16,658
貸与有形固定資産	25,489	26,083	24,909	資本剰余金	—	17,056	17,057
建物	14,966	14,160	14,286	資本準備金	—	17,056	17,056
器具及び備品	3,360	4,725	3,474	その他資本剰余金	—	0	0
その他	7,162	7,197	7,148	利益剰余金	—	137,442	136,602
無形固定資産	7,596	6,541	5,874	利益準備金	—	2,668	2,668
投資その他の資産	124,451	103,548	112,609	任意積立金	—	121,387	121,387
投資有価証券	23,480	14,615	18,143	中間(当期)未処分利益	—	13,387	12,546
繰延税金資産	6,512	3,159	5,709	その他有価証券評価差額金	—	529	834
敷金	80,780	75,198	78,198	自己株式	—	△1,759	△1,769
その他	21,174	13,819	17,370	資本合計	—	169,929	169,383
貸倒引当金	△582	△3,246	△653	負債・資本合計	—	292,679	282,202
投資等損失引当金	△6,916	—	△6,160	【 純 資 産 の 部 】			
資産合計	295,757	292,679	282,202	株主資本	161,633	—	—
				資本金	16,658	—	—
				資本剰余金	17,869	—	—
				資本準備金	17,056	—	—
				その他資本剰余金	812	—	—
				利益剰余金	144,134	—	—
				利益準備金	2,668	—	—
				その他利益剰余金	141,466	—	—
				特別償却準備金	89	—	—
				別途積立金	127,253	—	—
				繰越利益剰余金	14,123	—	—
				自己株式	△17,029	—	—
				評価・換算差額等	394	—	—
				その他有価証券評価差額金	394	—	—
				純資産合計	162,027	—	—
				負債・純資産合計	295,757	—	—

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (自 2006年3月1日 至 2006年8月31日)	前中間期 (自 2005年3月1日 至 2005年8月31日)	前期 (自 2005年3月1日 至 2006年2月28日)
営業収入	74,686	72,023	140,421
加盟店からの収入	67,372	65,469	127,342
その他	7,314	6,554	13,078
売上高	25,464	22,451	43,643
営業総収入	100,151	94,475	184,065
売上原価	18,112	16,053	31,186
売上総利益	(7,352)	(6,398)	(12,457)
営業総利益	82,039	78,421	152,878
販売費及び一般管理費	64,804	61,445	123,097
営業利益	17,234	16,976	29,780
営業外収益	1,824	1,171	1,977
営業外費用	60	131	107
経常利益	18,998	18,016	31,651
特別利益	142	—	61
特別損失	2,963	3,225	15,776
税引前中間(当期)純利益	16,177	14,790	15,937
法人税、住民税及び事業税	7,188	6,438	10,172
法人税等調整額	△672	△770	△4,600
中間(当期)純利益	9,661	9,123	10,365
前期繰越利益	—	4,263	4,263
中間配当額	—	—	2,082
中間(当期)末処分利益	—	13,387	12,546

加盟店の収入の対象となる加盟店売上高は次のとおりであります。
また直営店売上高との合計は次のとおりであります。
※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当中間期518,354百万円
当中間期543,819百万円

前中間期505,183百万円
前中間期527,635百万円

前期 988,092百万円
前期1,031,736百万円

中間株主資本等変動計算書 当中間期(自2006年3月1日 至2006年8月31日)

(単位:百万円)

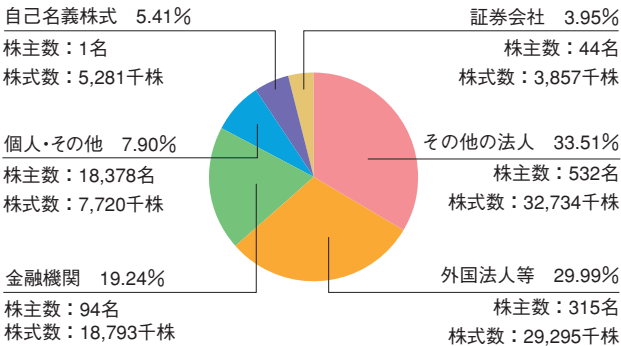
	株主資本										評価・換算差額等	純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金					利益剰余金合計
2006年2月28日残高	16,658	17,056	0	17,057	2,668	133	121,253	12,546	136,602	△1,769	168,548	834	169,383
中間会計期間中の変動額													
特別償却準備金の取崩						△44		44	—		—		—
別途積立金の積立							6,000	△6,000	—		—		—
剰余金の配当								△2,082	△2,082		△2,082		△2,082
利益処分による役員賞与金								△47	△47		△47		△47
中間純利益								9,661	9,661		9,661		9,661
自己株式の取得										△16,440	△16,440		△16,440
自己株式の処分			811	811						1,180	1,992		1,992
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)												△440	△440
中間会計期間中の変動額合計	—	—	811	811	—	△44	6,000	1,576	7,532	△15,259	△6,915	△440	△7,355
2006年8月31日残高	16,658	17,056	812	17,869	2,668	89	127,253	14,123	144,134	△17,029	161,633	394	162,027

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

発行可能株式総数250,000,000株
発行済株式の総数97,683,133株
株主数19,364名

株式分布状況



大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
ファミリーコーポレーション株式会社	29,941千株	30.65%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,095千株	4.19%
野村證券株式会社	3,391千株	3.47%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,787千株	2.85%
株式会社みずほ銀行	2,085千株	2.13%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	2,020千株	2.07%
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505103	1,543千株	1.58%

※上記のほか、自己株式を5,281千株保有しております。

商号	株式会社ファミリーマート
本社所在地	〒170-8404 東京都豊島区東池袋四丁目26番10号
設立年月日	1981年9月1日
資本金	166億58百万円
事業目的	フランチャイズシステムによるコンビニエンスストア事業
チェーン全店売上高	1兆317億36百万円 (2005年度)
店舗数	6,412店 6,469店 (国内外エリアフランチャイズ) 12,881店 (ファミリーマートチェーン合計)
従業員数	2,767名
国内エリア フランチャイズ	株式会社沖縄ファミリーマート 株式会社南九州ファミリーマート 株式会社北海道ファミリーマート
海外エリア フランチャイズ	全家便利商店股份有限公司 (台湾) BOKWANG FAMILYMART CO., LTD. (大韓民国) Siam FamilyMart Co., Ltd. (タイ王国) 上海福満家便利有限公司 (中華人民共和国) FAMIMA CORPORATION (アメリカ合衆国)

役員			
取締役会長	田邊 充夫	常務執行役員	加藤 利夫
代表取締役社長	上田 準二	常務執行役員	小坂 雅章
専務取締役 専務執行役員	植田 四三郎	常務執行役員	和田 昭則
専務取締役 専務執行役員	播磨 眞一郎	常務執行役員	高杉 豪
専務取締役 専務執行役員	池田 正洋	常務執行役員	潘 進丁
専務取締役 専務執行役員	井上 史郎	執行役員	高田 基生
専務取締役 専務執行役員	浦元 康彦	執行役員	上野 和成
専務取締役 専務執行役員	横田 孝行	執行役員	岩切 公愛
取締役 常務執行役員	関 正綱	執行役員	鈴木 久
取締役 常務執行役員	高橋 商太	執行役員	藤森 正美
取締役 常務執行役員	小部 泰博	執行役員	加藤 正幸
取締役 常務執行役員	宮本 芳樹	執行役員	木村 知行
常勤監査役	石津 直治	執行役員	伊藤 勝夫
常勤監査役	西岡 登	執行役員	植杉 正孝
常勤監査役	浅野 正裕	執行役員	平田 満次
監査役	遠藤 隆		

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日および8月31日
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://www.family.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
単元株式数	100株
株式の名義書換、 買取請求および買増請求	
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

ホームページの紹介



<http://www.family.co.jp/>

ホームページでは、商品情報のほか、ニュースリリース、環境活動、投資家情報など当社に関する各種情報を公開しております。

ずっと、あなたと、コンビに、



おかげさまで25周年

FamilyMart



店舗/リブ配合率100%再生紙を使用し、大豆油を利用したフインクインクを使用しています。

